

国際教育担当の先生へ

国際教育訪問授業

ディスカッションプログラム / 講演会プログラム

ご案内



未来を担うワカモノに
世界のこれからを議論できる機会を

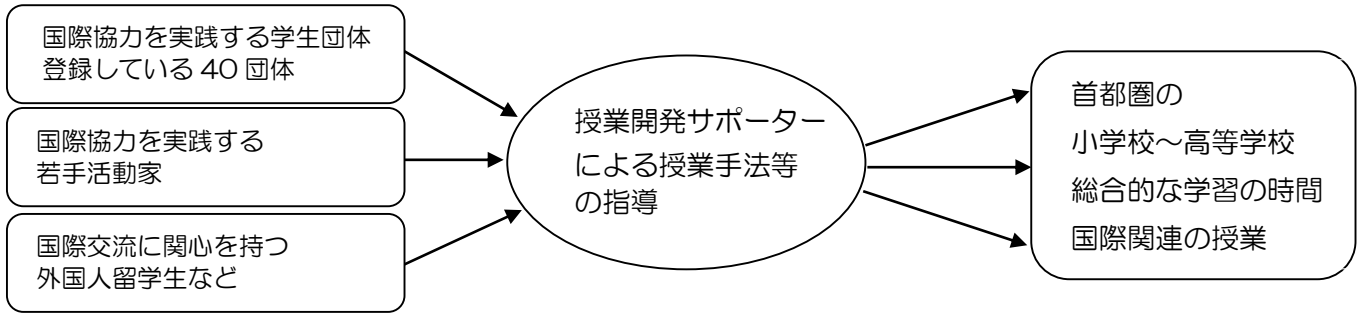


神奈川県高等学校国際教育研究協議会
NPO 法人 IMAGINUS(イマジナス)

国際教育訪問授業 ディスカッションプログラム

(1) 国際教育訪問授業プログラムのねらい

これまで、国際協力を実践する学生団体や NGO・NPO と共同で若者の国際協力の促進に取り組み、これまで神奈川県立高校で大学生学生団体計 12 団体にワークショップを通して国際教育訪問授業を実施してきました。当プログラムは世代の近い先輩とのディスカッションを通して「自分たちにも海外でこんな活動ができる」「大学生になったらこんな活動をやってみたい」と感じさせ、将来世界で活躍できる人材を育成する事を目的としています。



(2) ディスカッションプログラムの概要

ディスカッションプログラムは国際協力に挑戦するさまざまな世代の先輩達から間近で経験を聞き、議論することで、グローバルな視点とコミュニケーション能力を育成し、自らの進路選択に主体的になるきっかけを提供します。総合的な学習の時間や進路学習の時間、国際関連の授業などでご活用いただけます。

- ☑ 世界で起こる問題の現状を知り、自身に何が出来るか考えさせる授業です。

団体は主にフェアトレード、児童労働、貧困、人身売買、女性の格差の問題、戦争、教育などをテーマに様々な国で活動しており、若者の力で出来ることの可能性を感じる事が出来ます。

- ☑ 生徒に近い視点で生徒を動機づけ、海外に興味を持つようになる授業です。

年の近い大学生が自身の国際協力体験談を話す事で、国際ボランティアや留学等の行動に移すきっかけになります。

- ☑ 進路を考えるきっかけを作る授業です。

さまざまな分野で学ぶ大学生と近い距離で話が出来るので、大学での授業の話など生の声を聞くことが出来ます。それぞれの分野と国際のキーワードがどのようにつながるかも知ることが出来ます。



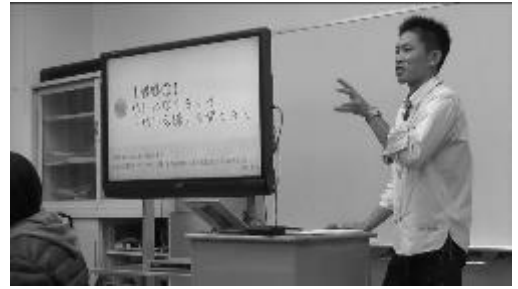
ディスカッションプログラム実施例

	内容	形式	対象
1-1	大学生や NGO 職員による講話とディスカッション 例：大学生 1 名と NGO 1 名	講演及び 生徒間グループ活動 (45 分～90 分)	20 名～30 名程度
1-2	コミュニケーション重視のワークショップ 例：大学生 2 名と NGO 1 名と外国人 1 名	スタッフとのグループ活動 (45 分～90 分)	30 名～40 名程度
1-3	大人数対象コミュニケーション重視ワークショップ 例：大学生 8 名と NGO 2 名と外国人 2 名	スタッフとのグループ活動 (45 分～90 分)	大人数(学年全体等) (要相談)

国際教育訪問授業 講演会プログラム

(3) 講演会プログラムの概要

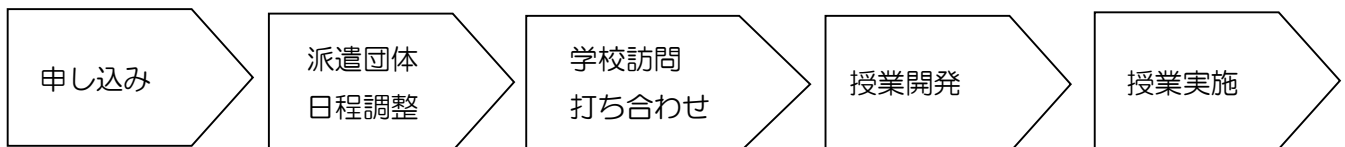
講演会プログラムは小学生～高校生を対象に、国際協力に挑戦する方から経験を聞くことでグローバルな視点をもつ人材を育成し、自らの進路選択に主体的になるきっかけを提供します。総合的な学習の時間や進路学習の時間、国際関連の授業などでご活用いただけます。



講演会プログラム実践例

	内容	形式	対象
2-1	大学生や NGO 職員による講話（1 名派遣） 例：大学生または NGO 職員 1 名	講演形式 （45 分～60 分）	少人数～ 学年全体
2-2	大学生や NGO 職員による講話（複数名派遣） 例：大学生 1 名と NGO 職員 1 名	講演形式 （45 分～90 分）	少人数～ 学年全体
2-3	大学生や NGO 職員によるローテーション講話 例：大学生 3 名と NGO 職員 1 名	講話ローテーション形式 （45 分～90 分）	少人数～ 学年全体
2-4	各教室での大学生、NGO 職員による講話 例：大学生と NGO 職員をクラス数に合わせて派遣	講演形式やローテーション形式で実施可能 （45 分～90 分）	学年全体 （要相談）

(4) 実施の流れ



※少なくとも実施の1か月程度前にお申込みください。

【授業を受けた生徒の声】

- ・自分も大学に入ったらボランティアをしてみたいと思った。
- ・大学入ってから国際ボランティアのスタートが早くできてよかった。
- ・自分の進路と国際のつながりを知れてよかった。
- ・留学や海外のボランティア活動について興味を持った。
- ・ディスカッションをすることがこんなに面白いことかと感じた。

【利用していただいた先生の声】

- ・大学生でここまでの活動をしているのかと驚いた。
- ・生徒だけでするディスカッションに比べ、大学生が入ることでより活発に機論できると感じた。
- ・ICT等をうまく使い伝え方の工夫をしていると感じました。
- ・継続的に来てもらうことで、よりディスカッションが出来るようになって感じています。
- ・授業後に質問に行く高校生の姿が印象的だった。

(5) 謝礼等

大学生交通費程度、NGO/NPO 職員は団体の規則による。

予算がない場合もご相談ください。

(6) 連携団体概要 URL

全国国際協力学生団体連盟UYIC（ユイック）<http://uyic-japan.jimdo.com/>

NPO 法人 IMGINUS（イマジナス）<http://imaginus.jp/about/>

お問い合わせ

神奈川県高等学校国際教育研究協議会
国際教育訪問授業担当 木村
kimura-mitsuhiro@pen-kanagawa.ed.jp
080-6735-8596

